

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・理念の中に地域との関係を盛り込み 職員にも意識づけをしている。</p> <p>○</p>	<p>・理念のなかに地域との関係を入れることにより 職員に理解を深めて実践できるように努めたい。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・ホームの玄関、事務室、ホールの見やすい所に理念を掲示し、日々の介護サービスの参考にしている。</p> <p>○</p>	<p>・理念について、職員の全体会の時に確認している。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>・ホームの目のつく場所に掲示している。</p> <p>・契約時に家族に説明し、パンフレット、契約書、ホームページなどに記載している。</p> <p>○</p>	<p>・家族会の時などに理念について話題に取上げ家族の方々にも再認識していただける様に努力したい。</p> <p>・地域の病院や、公民館にパンフレットを置いてもらう。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・利用者の方々との散歩時は、隣近所の人に挨拶を心がけ、いつでも遊びに来ていただける様お話している。</p> <p>・夏祭りには、隣近所の人も来られた。</p> <p>○</p>	<p>・今後共、行事の時には、隣近所に声かけしホームに遊びに来ていただける様にしたい。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・地域の夏祭りに参加したり、ホームの庭を子供みこしの休憩所に提供したりしている。</p> <p>・地域の保育園の園児との交流会をしている。</p> <p>・買い物は出切るだけ地域の店を利用し、顔なじみになっている。</p> <p>○</p>	<p>・今後共、保育園の園児との交流会は継続したい。</p> <p>・ボランティアとして、利用者の話し相手や囲碁の相手に来てもらっている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・人材育成として、福祉関係の学校の生徒に自主実習やボランティアの受入れをしている。	○	・これからの受入れ要請がある時は、積極的に受入れたい。 ・民生委員の集まりにも参加している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価を全職員で共有し、今後もケアに生かしていきたいと思っている。 ・評価項目がはっきりしているのでケアに役立てやすい。	○	・前回の評価結果について全体会で話し合いケアに生かしている。 ・今回も改善点については職員全体で取り組みたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・二ヶ月に一度のペースで開催し、行事や出来事について報告・助言を受けたり、その件で話合ったりしている。そこでの意見は、月一度の職員の全体会で報告しサービスの向上に生かしている。	○	・運営推進会議の出席率はいつもいいが、市職員や包括支援センターの方々の出席は少ない。 ・今後共、運営推進会議での話し合った事を職員の全体会で取上げ、サービスの向上に役立てたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・介護長寿課のグループホーム担当者に不明な点は、問合せたり、相談に乗ってもらったりし、その情報をサービスに反映させている。	○	・度々、市に行くので市担当者に顔を覚えて貰っている。 ・包括支援センターにパンフレットを置いて貰っている。 ・継続してすすめていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・職員に権利擁護や成年後見人制度のパンフレットを見てもらい理解して貰える様努めている。 ・過去に利用者に該当者がいたので、成年後見人制度は活用したことがある。	○	・今後、該当者がいる時は、すみやかに支援していきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・虐待はありません。 ・危険を回避する時の拘束は家族に理解していただいている。 ・虐待の研修に出席、そのマニュアルを掲示し職員に理解してもらっている。	○	・今後共、虐待については絶対ない様に徹底する。 ・危険を回避する拘束も、出来るだけ拘束しない様話し合い努力したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約に関しては、入所までに何度か自宅や病院、利用されているデイサービスなど訪問し、十分な説明をし、理解・納得して貰っている。又、契約時にはケアマネより再度くわしく説明を行っている。	○	・今後共、契約に関する説明は納得するまで話し合いたい。 ・仕事の担当より、くわしく説明していきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・市からの介護相談員が月一回来られて、利用者の意見を聞いて貰っている。又、苦情相談窓口を重要事項説明書に記載し、又ホームの玄関に苦情相談ポストを設置している。	○	・今後共、介護相談員に来ていただき、利用者の相談相手になってもらう。 ・相談員の来られる日をホーム内に掲示し、家族の方にも相談のある方には、来ていただく様になっている。 ・日々のサービスの中で気配りをしている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・二ヶ月に一回位、かえで新聞を発行、生活状態について報告、又個々の健康状態については、家族が来所時に報告、急ぐ時には電話連絡にて報告している。	○	・今後共、新聞の発行や情報についての報告は綿蜜に行う。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・市からの介護相談員が来られる日をホーム内に掲示し相談がある方は来ていただく様になっている。又、家族会に相談員の方も参加し話して貰っている。 ・苦情相談ポストを設置している。	○	・日々サービスの中で、面会時にはコミュニケーションをとっている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・運営に関しても、意見や提案を聞く様努めている。職員の意見も具体的に実践に反映している。 ・運営者と職員の間は、相互的に通気性は良好である。	○	・今後共つづけていきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・勤務表をつくる時は、あらかじめ希望を聞いて、出来るだけ希望を入れた勤務表を作っている。 ・繁忙時間帯に応じて時間差出勤をしている。 ・話し合いで業務量の調整をしている。	○	・夜間に、何か起きたら、運営者が出て来る体制をとっている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・昨年の10月より職員の離職はない。 ・昨年の10月より入社した職員もグループホームの経験者に入社してもらった。	○	・今後、離職者がでた場合、利用者のダメージなど考慮の上採用していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員で受講資格のある人は、積極的に研修を受けてもらうようにしている。又、研修を受けた職員は、全体会の時に内容について発表、皆で話し合っている。	○ ・施設内トレーニングは日々のサービスを実践しながら、質問や学習をし、又話し合ったりしている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の方々との交流を持っており、研修などを通じて交流の機会をふやしている。又、新規開設した所は見学させていただいている。	○ ・他のグループホームの見学を受入れたり、他の施設を見学し、良かった所は自社職員と話し合いサービス向上に努めたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間や、休息場所の確保など、職場の意見を聴きながら努力している。	○ 今後も職員の行動に目を向けて配慮したい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員のそれぞれの個性に応じて力を発揮してもらっている。勤務状況は毎日確認している。	○ 今後とも職員より、よいアイデアの提案があったら取上げ実行したい。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・申し込みから入所まで、何度も面談し、本人 家族の話を聞くようにしている。 ・お試し機関を設けて馴れてもらったこともある。	○ ・何度も会うことで、顔馴染みになる様努力したい。 ・本人の話を傾聴し、細やかな観察することを基本姿勢としている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・家族と何度も会い、家族の話を傾聴している。又家族の希望を理解し、事業所として、どのような対応ができるか話し合いをしている。	○ ・家族会に入会していただき、他の利用者の家族と話し合う時間をひきつづき作りたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その人にあつたサービスの優先順位を見極め、平行して他のサービスも行っている。	○	・本人と家族が不安を解消する様な支援をしたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に本人と家族にホームに来ていただき、ホームの雰囲気を知ってもらうよう努力している。又、入所時に馴染みの家具などを持参していただいている。	○	・入所された時点では、本人の意向に任せた生活をしてもらい様子を見る。場合によっては、家族の協力をお願いしている。 ・食事・排泄・睡眠を整えることを基本とした介護実践をしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の好きな利用者さんから、料理を教してもらったり、園芸の好きな利用者さんと一緒に玄関周りの花の手入れをしたりしている。	○	・今後共人生の先輩として、いろいろ教えていただいたり、敬意の気持を持って接していこうと思う。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時は、毎日の生活ぶりを報告し、家族の希望を聞きながら介護に反映させている。情報交換を蜜にし協力してもらっている。	○	・面会、年間行事の呼びかけ、新聞発行、病院受診、年末年始の外泊、外出の支援をしている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時間の制限はせず、部屋で面会してもらいお茶や椅子を用意して本人との関係が築けるように配慮している。	○	・ホーム行事には、家族に呼びかけ、利用者と家族の時間をつくって過してもらっている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が病院受診の時などを利用して、お墓参りや馴染みの人に会える支援をしている。又、家族もそれをしてくれる。	○	正月や盆などを利用して、外泊や外出の機会をつくる様、家族に協力をお願いしている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・障害のレベルに配慮して配置している。食事やTVを観る時の席は、できるだけ良い関係が築けるようマッチングしている。	○	職員と一緒に同じ話題で、話しあったり、ゲームで競い合ったりしている。たとえば、テーブルの花などで、利用者間で話が広がったりしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・入院・退所された利用者の方々へは、時々お見舞に行き家族の相談にのっている。 ・家族から電話にて連絡がある。	○	病院や施設にうつられた利用者に対しては、病院、施設・家族との情報交流をしている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人や家族の意向を聞き、情報交換をして、サービスに生かしている。 ・日々の生活の様子は、勤務時間帯以外のことも介護記録や申し送り簿を活用して認識し利用者の介護サービスに生かしている。	○	今後共、継続していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時に以前のケアマネや病院等からの紹介状等を利用して把握している。 ・情報不足が多いので生活の中で観察して 追加情報を得ている。	○	今後共、継続していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・日々の生活の中で、サービスを提供しながらその反応などを含めて客観的に判断できるようにしている。	○	今後共、継続していきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・新入居者・・・家族(本人)から意向を伺う。職員には前施設からの情報を提示し意見をもらう。 ・既入居者・・・家族(本人)からの意向を伺う。職員には、全体会で意見を述べてもらい、受持ちスタッフとケアマネと話し合う。	○	今後共、継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	スタッフや家族、ホームドクターの意見を聞き、方針の変更を申し送り簿に書き、すみやかに対応できるようにしている。	○	今後共、継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・それぞれの勤務帯の介護者が実践の記録を残しサービスが継続されている。 ・勤務以外の出来事も記録で情報を得て介護計画に活かしている。	○	継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・習字・・・ボランティアで来てもらい作品を掲示している。 ・家庭菜園・・・利用者の家族の方に作ってもらい、利用者に収穫や見学などを日常的に行っている。	○	看護師の活用・・・移動困難な利用者に対しては、ホームドクターと連携し、注射を行っている。健康管理・ホームドクターとの情報交換も行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員・・・運営推進会議の出席 ・ボランティア・・・習字教室、音楽、行事の支援 ・警察・消防・・・消防訓練や防犯訓練に来てもらった ・文化・教育・・・保育園児との交流、学生の自主実習の受入れ	○	・高等学校や短期大学 専門学校にボランティアの要請を行う。 ・新しいボランティアを受け入れていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の心身の状態や変化に応じて家族と相談し、他の施設と情報交換をしている。	○	・本人 家族の希望の方のみ 訪問理容のサービスを利用している。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・過去に社協との協働はあったが、地域包括支援センターになってからはその機会がない。	○	・今後は積極的に 地域包括センターと協働していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・利用者 家族の希望する医療機関を受診してもらっている。 ・ホームのホームドクターには 月に1～2度往診に来てもらっている。	○	・往診のない病院には 受診時に ホームでの状態について手紙(ケアマネより担当先生に)を持参してもらっている。 ・ホームドクターと蜜に電話やFAXで情報交換をしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・それぞれの主治医と相談し、専門の病院を紹介してもらっている。・ホームドクター以外にも入所前にかかった病院にかかることもある。	○	・常に電話やFAXで情報交換している。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・職員に看護師がいるので、日常の健康管理に当たってもらい 利用者の健康面で気付いた時は相談にのってもらっている。	○	・これからも 看護師の職員確保していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院時より医療機関と話し合い情報交換している。 ・家族に連絡をとったり、病院に足をはこんで様子を見に行ったりしている。	○	・これからも継続していきたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・重度化した時の指針をさきめ家族と話し合い同意書もらっている。・利用者 家族 ホームドクター 職員と情報交換し対処している。	○	・家族会の折は、重度化や終末期に向けた方針について話題にし理解を深めてもらっている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・原則として 経口摂取ができなくなったら当ホームでの対処が困難とおもわれる。 ・家族やホームドクターと検討して対処している。	○	・これからも その時々状態に応じて話し合っていきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・利用者の個人情報や文章で交換すると共に次の施設の担当者へ直接会ってもらい 追加情報交換を行なっている。	○	・今後もこの様なことがあったときは 本人のダメージが少なくなるよう 十分な情報交換を行ないたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人情報事務所に保管している。 ・全体会議で利用者の介助 話し掛けについて 話し合いサービスにとりくんでいる。	○ ・今後も継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・介護には 時間の余裕をもってあたり 利用者の意向が表わされるように支援している。	○ ・利用者と同じ目線で接していきたい。 ・職員と利用者の会話の時間をできるだけとり 利用者の希望の把握に努めていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者の立場に立って 本人の意向に添ったサービスをしている。	○ ・これからも利用者の立場に立ったサービスをしていきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・本人や家族の意向で 月一回程度理容業者に来てもらい 髪のカット 髭剃り 顔剃り 髪染め などしている。 ・好みの理容店を利用している利用者もいる。 ・鏡を見てもらう様にしている。	○ ・男の人は毎日髭剃りをしている。 ・女の人は行事の時に化粧やマニキュアなどをしたりしている。 (喜ばれている)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の準備や片付けは個人の能力に応じて一緒にやってもらっている。 ・旬の食材(家庭菜園で出来た野菜など)を利用し 食事の時に食材や季節の話しをしながら食事をとっている。	○ ・今後とも継続していきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・利用者は甘い御菓子や飲み物が大好きなので10時や3時のおやつに提供している。 ・ほとんど残食がない。	○ ・今後とも継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・各々の排泄パターンを把握しているので 利用者にあった支援ができています。 ・夏に紙パンツから布パンツに変えた利用者もいる。	○	・利用者の排泄パターンを見逃さない。 ・暖かくなったら紙パンツから布パンツに変えていく支援をしていきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・お風呂のときは毎回本人の希望で浴槽に入ってもらっている。 ・利用者は皆入浴が大好きである。	○	・入浴の後に 幸せだなあ という声もきこえる。 ・将来家族の協力の基 温泉に行くことも取り入れたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・昼間利用者の意志で休まれている事もあるが時間をみて起こしている。 ・冬季期間の夜間はアンカを用いて安全に使用している。	○	・週に一度はかならず布団を天日干している。 ・布団カバーや枕カバーは常に清潔に心がけている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・発語や会話を大切にし 利用者それぞれに応じた生活をしてもらっている。 ・意志の表現できない利用者には 快意の表情や発語を大切にし生活してもらっている。	○	・面会時 食事や入浴時 美しいものを見た時 又リレーションなどでリーダー的役割をした時などに 満足感を味わっている様である。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・家族よりお金を預かっているのでいつでも使えるということを利用者に話している。 ・家族の了解の基 利用者の中にお金を持つ事で不安の解消される利用者には持ってもらっている。	○	・スーパーなどに職員と一緒に買い物にいつている。 ・夏祭りや行事の時に金券を利用し 買い物をする様な企画を考えたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・利用者の体力に応じて 外出の支援をしたり ホームの菜園の見学や収穫 ホームのまわりの散歩 スーパーへの買い物 さくら見物 など行っている。	○	・各利用者の体力に応じた支援をして行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・マラソンや野球の応援に行っている。 ・季節の行事に合わせて外出している。	○	・家族と墓参りや 馴染みの人に会ったり食事をしたりしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話は利用者が自分でしたいときにしている。 ・手紙の返事は支援しているが 人によっては困難である。	○	・年賀状は皆家族にだされた。 ・今後共機会をみつけて支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会は制限していない。 ・家族以外の面会も度々ある。 ・自室でお茶や椅子を用意して 面会をしてもらっている。 ・笑い声が聞こえてくる。	○	・今後とも継続して支援していきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・基本的に身体拘束は行っていない。 ・命に危険を及ぼす事がない様に家族の同意の基 短時間したこともある。	○	・拘束をしない介護に取り組んでいきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関の鍵はしていない。 ・利用者の行動パターンを職員が把握し 視野のなかに入れておく様心がけている。	○	・今後とも鍵をかけない様にする。 ・ケースによってはセンサーの利用も考慮したい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・不安の強い利用者にはホールの近い室に入居してもらっている。 ・職員がその場を離れる時は 職員同士声を掛け合い安全に配慮している。	○	・ホールが中央にあり職員が安全確認し易い様になっている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・ティッシュペーパーや花を口にする利用者もいるが 職員が行動パターンを把握しているので回避できている。 ・洗剤 包丁 鋏 類は所定の鍵のかかる場所に収納することになっている。	○	・鍵の施錠の確認は毎日の勤務の中に入れ行っている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・全体会議 申し送り事項 介護記録を職員が活用し 利用者の情報を周知し 事故防止の介護に生かしている。 ・事故届けを書く事により 原因 対策が見えてきて ケアに生かしている。	○	・転倒が予期される利用者のトイレの時などは必ず職員が付き添っている。 ・ガスの元栓の確認は毎日の勤務の中に入れ行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・マニュアルが見やすい所に置いてある。 ・事故発生時の連絡場所が明示してある。	○	・全体会を利用し 職員に再度確認していきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・警察 消防署の実地指導をうけている。 ・非難場所の確認もしている。	○	・災害時 避難訓練を地域の消防団や家族会にも声をかけ行う計画中です。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・契約時には必ず説明し 又後日変化があったときは 其の都度説明 対応策について 家族の意見を聞きながら職員間で話し合っている。	○	・全体会のカンファレンスの時間に一人一人のリスクについて再確認し 対策を話し合っている。 ・今後共カンファレンスの時間を利用し 職員全体で話し合いよりよい介護に努めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・毎朝バイタルチェックや観察を行い 体調の変化を発見した時は看護師に相談 掛かりつけの医師に連絡し指示をもらう。又その情報は申し送り簿や介護記録に記入し 必ず口頭で次の勤務の人に申し送っている。 ・入浴時には 全身の皮膚の変化に気をつけている。	○	・できるだけ毎日看護師が勤務に入る様にローテーションを組んでいる。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員は利用者の飲んでいる薬について 用法や用量について理解している。 ・薬情報はいつでも全職員が見ることが出来る様にしている。	○	・薬の変化した時は 申し送り簿に記入し 職員に徹底している。 ・副作用についての理解を深めたい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・食事には繊維の物を多く取り入れ 食事 お茶 お風呂の後など出来る限り多めの水分を取る様に気をつけている。 ・室内歩行や天気の良い日には室外散歩に行ったりして運動に心がけている。	○	・乳酸菌飲料(ヨーグルト ヤクルト)を食事やおやつに取り入れ 腸の働きを促している。 ・三日以内に排便がある様調節している。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食後は ハミガキ うがい 口腔内の確認をし見守り 介助している。 ・夜は義歯の消毒(ポリデント)に対応している。	○	・今後とも清潔保持に努めたい。 ・定期的な歯科医師による 口腔ケアの支援の検討中です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養バランスを考え 利用者ごとに食べる量や水分量について考えながら対処している。 ・体重測定を二週間に一度行い 変化を観察している。	○	・栄養士にカロリーについて調べてもらったが 非常に良いとのことでした。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・インフルエンザワクチンは利用者 職員全員接種している。 ・肺炎ワクチンは利用者全員接種している。 ・うがい 手の消毒は訪問者にも理解いただき実行している。 ・予防マニュアルをそなえている。	○	・インフルエンザやノロウイルスの予防対策は台所や洗面所に掲示している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・食材はできるだけ当日分は当日購入している。 ・魚類は その日の調理前に届けてもらう。 ・冷蔵庫 まな板 布巾 包丁の消毒などは 勤務の中に入れ 衛生管理に努めている。	○	・これからも食材管理や衛生管理に努めたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関まわりに木や花を植えたり 家庭菜園をつくり 利用者の家族にも お手伝いをお願いしている。 ・車椅子での出入りができやすい様にしている。	○	・これからも継続してお手伝いいただける様お願いしたい。 ・場合によっては駐車場が広いため近隣の人に利用してもらっている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・食事の時にふさわしい音楽をかけたりリビングやホールに季節の花を飾ったりしている。 ・四季を感じてもらう為に行事物(ひな人形 鯉のぼり すだれ 金魚etc)を飾っている。	○	・金魚や鈴虫を育てていて 利用者と一緒に触れ合ってもらっている。 ・利用者の日々の生活などの写真を掲示し 利用者 家族に楽しんでもらっている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・リビングやホールにいろいろな椅子を配置しているので利用者の好きなところで過ごされている。 ・談話室にTVや展示物を飾り楽しんでもらっている。	○	・利用者が使い易い様に 椅子やソファ配置を考慮したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室に写真や 誕生日に皆から書いてもらった寄せ書きなど貼ったりしている。 ・使い慣れた家具なども 危険のない範囲で持ってきていただいている。	○	・昔の写真や家族の写真をはっている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・居室 リビング にはエアコンを配置 温度計や湿度計を使って室温管理に気をつけている。 ・換気は常に気をつけている。	○	・冬は加湿器を利用している。 ・自然の風を入れるため窓を開け換気している。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレ 浴室には手すりなどを設置し 車椅子でも対応できるトイレもある。 ・玄関に手すり 靴の履き替えが便利な椅子を配置し一人で靴を履き替えをしてもらっている。	○	・浴室 トイレの手すりは安全性の問題でも非常に有効に使われている。利用者の方よりも好評である。 ・洗面所に大きな鏡があるので身だしなみにやくだっている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・トイレや洗面所は自分の好きな所を利用しているほとんど迷う事はない。 ・居室にはそれぞれの目印があるのでほとんどまようことはない。	○	・家族と相談のうえ居室前に手づくりのプレートに名前を書いて自分の室がわかるようにしている。 ・持込品には必ず名前を付けているので混乱の心配がほとんどない。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・玄関まわりに花を植えたり ベランダにプランタを置いて室の中から花が楽しめるようにしている。 ・ベランダをお喋りや夏祭り 豆まきなどに利用している。	○	・利用者の家族の協力を得て一年中家庭菜園で野菜作りをしている。これからも継続してお願いしたいと思っている。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・家庭的な雰囲気を大切に介護をしている。
- ・職員は経験豊富で、やさしく落ち着いた態度で利用者へのサービスができています。
- ・看護師が三人いるので、毎日の健康管理ができやすく、ホームドクターや家族との情報交換ができています。
- ・ホーム内ホールの天井が高く広いので、明るく、利用者が多面的に利用でき（リハビリ・カラオケ・レクリエーション）ゆっくり、安全に過ごすことが出来る。
- ・家庭菜園を活用し、季節を感じながら、今までの生活経験が活かせるよう畑仕事や、台所での季節料理を作ったりして楽しんでいる。
- ・入浴が週3回あるので清潔が良く保たれている。又、それに伴い衣服の洗濯もしているので清潔である。
- ・居室についても担当を決めて管理しシーツの交換や布団干し等気持ち良く過ごして頂く為の努力をしている。
- ・ボランティアの慰問（保育園児、踊り、音楽）が多い。